

## 三つの幸せ ～鍵山秀三郎さんの言葉から～

カー用品販売の全国チェーン店の創業者で、「凡事徹底」（何でもないような当たり前のことを、徹底して実践し続けること）という言葉や、掃除運動で国内及び海外で有名なNPO法人「日本を美しくする会」相談役の、鍵山秀三郎さんが講演の締めくくりなどでよく述べられている言葉を紹介しします。

人生には三つの幸せがあるといます。

一つ目は「もらう幸せ」、  
二つ目は「できる幸せ」、  
三つ目は「与える幸せ」です。



みなさんは、今、幸せでしょうか。普段はあまり意識することがないかも知れませんが、例えば家の人にご飯を食べさせてもらったり、洋服を買ってもらったり、買い物などに連れて行ってもらったりしています。このように人から何かをしてもらって幸せを感じるのが「もらう幸せ」。

今までできなかったことができるようになる。例えば、英語が話せるようになる。テストの点がアップする。部活動で勝てなかった相手に勝つ。このような、自分で何かができることに喜びを感じるのが「できる幸せ」。

友だちや家族など周りの人に何かをしてあげると、どんな反応が返ってきますか。きっと、とても喜んでくれるでしょう。「何かをしてあげる」と、相手はとても喜んでくれます。そして、その人が喜んだ姿や顔を見たとき、自分も幸せになります。これが「与える幸せ」です。



このうち、鍵山さんがもっとも大事な幸せと考えているのは、三つ目の「与える幸せ」です。自分の時間や労力を使って相手に何かをしてあげる。相手の喜ぶことをして、相手の喜びを我が喜びとする。自分一人だけの喜びより、多くの人に喜んでもらった方が、幸せが大きくなる。という考え方です。いつも人に何かをしてもらわないと幸せになれない人や、自分さえできればよいという考えの人になるのではなく、人に「何かしてあげる」幸せこそが大切だということです。

「何かしてあげる」と言っても、直接姿の見える相手とは限りません。ふだん私たちは姿の见えない誰かに何かをしてもらっているということが数多くあると思います。これと同じで、私たち自身も姿の见えない誰かに「何かしてあげる」こと、私たちのために力を尽くしてくれている人に「思いを寄せる」ことも大切ではないでしょうか。

### あなたは2学期にどう成長できましたか？

さて、2学期もこの一週間を残すだけになりました。どんな2学期だったか、一人一人学期始めに立てた目標に照らし合わせて、評価してみてください。そして、冬休みや新しい年への課題を見つけ、新たな目標を定めてください。



